



平成13年11月26日
日本原子力発電株式会社

電動弁の運転中診断装置（MOVDAS）の開発について

この度、当社は、電動弁の運転中診断装置（MOVDAS）を、日本ギア工業（株）の技術協力を得て開発いたしました。

本装置は、原子力発電所1基あたり300台程度設置されている電動弁に適用することができ、電動弁駆動部に内蔵させたトルクセンサーの信号を利用して高精度な故障診断と劣化傾向管理を行うことができるものです。

本装置の導入により、発電所の停止中だけでなく、運転中であっても電動弁の健全性診断が行うことができ、従来の点検時期をあらかじめ決めてから行う時間計画保全から、電動弁のコンディションに応じて点検を行う状態監視保全へ移行でき、信頼性の向上と点検作業の合理化がはかれます。

また、優れた携行性を有し、外部電源が不要、短時間での診断作業が実施できるなどの特徴があるほか、他の産業界で使われる電動弁にも適用が可能となる装置です。

今後は本装置を商品化し、当社各発電所の主要電動弁に導入するとともに、当社の関連会社である原電事業（株）を販売元として市販する予定です。

なお、本装置は、東京ビッグサイトで開催される「メンテナンス・テクノショー2001」（平成13年11月27日から30日）に出展します。

以上